本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

668

使用説明書

P

668

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となることがあります。



キャパシタの取り扱いについて

本機で使用している充電式のキャパシタを取り外した場合は、誤ってキャパシタを飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

キャパシタは小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

キャパシタについて

本機は電池のかわりに充電式のキャパシタを使用しています。キャパシタの交換は必ずカシオサービスセンターにて行なってください。間違って電池と交換しますと、電池が破裂する場合があります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

ご使用上の注意

防　水　性●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バ　ン　ド●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温　　度●自動車ダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因となります。

磁　　気●時計機能には影響ありません。

薬　品　類●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保　　管●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた
●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると
●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■液晶パネルの交換について

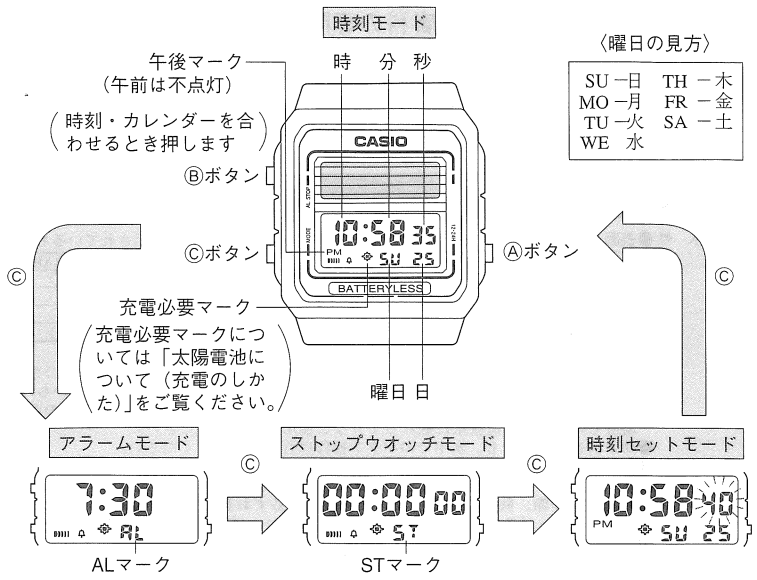
液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

この時計は光エネルギーによって動きますので電池は不要です。光エネルギーは太陽電池によって電気エネルギーに換えられ、キャパシタに蓄えられますので光をあてなくても約４日間（フル充電時）使用することができます。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切替わります。

※各モードでⒶまたはⒷボタンを押した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。

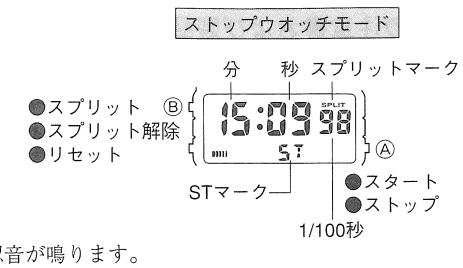


●時刻モードでⒶボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示（24Hが点灯）とが切替わります。

ストップウオッチの使い方…

操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは１／100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に０に戻って計測し続けます。



★計測のしかた
Ⓐボタンを押すごとに確認音が鳴ります。

※積算計測
ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓐボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●通常の計測
Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測
Ⓐ スタート → Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

●１着・２着同時計測
Ⓐ スタート → Ⓑ １着がゴール（１着タイム表示） → Ⓐ ２着がゴール → Ⓑ ２着タイム表示 → Ⓑ リセット

●ストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して時刻モードなど他のモードにしても、その計測には影響ありません。
（スプリット計測時を除く）

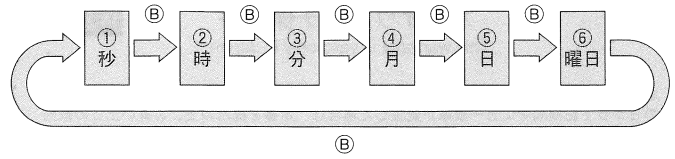
秒の合わせ方（±30秒の修正）

Ⓒボタンを押して時刻セットモードにし（秒が点滅）、時報に合わせてⒶボタンを押すと00秒からスタートします。
《00～29秒のとき…00秒へ戻り、30～59秒のとき…１分くりあがって00秒からスタートします。》

Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻ります。
★時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

時刻・カレンダーの合わせ方

1時刻セットモード（秒が点滅）のとき、Ⓑボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動。Ⓑボタンでセットしたい個所を点滅させます。



2Ⓐボタンを押しながら表示をセットします。（押すごとに１つずつ進み、押し続けると早送り）
※「時」のセットのとき午前／午後、24時間制表示にご注意ください。
※時刻モードのとき「月」は表示されませんが、オートカレンダー機能のため「月」を合わせます。

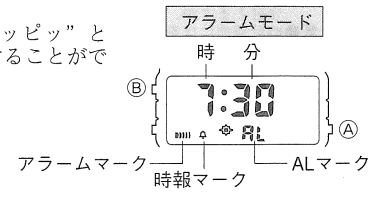
3Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻り、セット完了。
※時刻セットモードで表示を点滅させたままにしておくと、１～２分後自動的に時刻モードに戻ります。

●カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の２月29日以外は修正不要です。

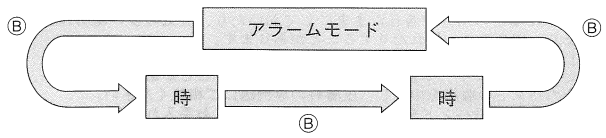
アラームの使い方…

操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。
また、毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。



●セットのしかた
1アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動。Ⓑボタンでセットしたい個所を点滅させます。



2Ⓐボタンを押しながら表示をセットします。（押すごとに１つずつ進み、押し続けると早送り）
※時のセットのとき午前／午後にご注意ください。
※時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制表示となります。

3セットが終わったら、Ⓑボタンを押してアラームモードに戻します。
（Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻ります）
※アラームモードのセットで表示を点滅させたままにしておくと、１～２分後自動的に時刻モードに戻ります。

●アラーム、時報のON／OFF
アラームモードのとき、Ⓐボタンを押すごとにアラームマーク 、時報マーク が点灯、不点灯をくりかえします。
アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。

●モニターアラーム
アラームモードでⒶボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。

●鳴っている電子ブザーを止めるには
Ⓑボタンを押します。

太陽電池について（充電のしかた）

●使いはじめの時は、光（一般オフィス内の光程度＝下表参照）が当たるとクイックスタート回路が作動し、約２秒後に時計が動き出しますので、時刻・カレンダーを合わせてください。（時刻・カレンダーの合わせ方参照）また、動きはじめの時、正規の表示になっていない場合がありますが、時刻・カレンダー合わせによって正常な表示に戻ります。

●安定してご使用いただくために、充分な明るさのもとで、充電必要マークが消えるまで充電してください。
（充電時間は下記の表を目安にしてください。）

●フル充電後、（全く充電をしないと）約３日を過ぎると充電必要マーク「」が点灯し、充電が必要なことを知らせます。マークが点灯したらマークが消えるまで光に当ててください。また、充電必要マークが点灯するころになると、アラームの音量が小さくなったり、表示が薄くなることがあります。

●安定したご使用をしていただくために袖口から時計が出る様に腕につけてください。また、時計をはずしておく時はできるだけ明るい所に置いてください。

★充電時間の目安

条件	環境	所要時間
使い始めから“充電必要マーク”が消えるまで	直射日光（100,000ルクス）	約15分
	日の当る窓際（20,000ルクス）	約50分
	蛍光灯直下*（5,000ルクス）	約４時間
使い始めからフル充電まで	直射日光（100,000ルクス）	約40分
	日の当る窓際（20,000ルクス）	約２時間

条件	環境	所要時間
毎日動き続けるのに必要な時間	直射日光（100,000ルクス）	約４分
	日の当る窓際（20,000ルクス）	約12分
	蛍光灯直下*（5,000ルクス）	約50分
	一般オフィス内（蛍光灯700ルクス）	約６時間

（*15W or 20W　蛍光灯下20cm）

充電時の注意

●充電の際、光源の条件によって時計本体が極端に高温になることがあります。以下の様な高温下での充電はお避けください。
○炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上に放置。
○白熱ランプなどの発熱体に極端に近づけての放置。
○直射日光が長く当たり、高温になる所への放置。

製品仕様

水晶発信周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±30秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後
カレンダー表示＝日・曜日
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間
時報　毎正時に２回電子ブザーで報事
ストップウオッチ機能：計測単位＝１／100秒　計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スフリット計測、１・２着同時計測
セット機能：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構（±30秒クリア）アラームセット機構
その他：自動復帰機能　モニターアラーム　12／24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC／MOS・LSI
使用キャパシタ：コイン型キャパシタ１個
持続時間：フル充電から止まるまで約４日間（１日当り、アラームを20秒間、時報を24回使用した場合）